

令和7年度 鈴鹿市雇用促進連携協議会 会議録

令和7年6月24日(火)14時～15時30分

ジェフリーすずか 3階 ホール

(事務局)

それでは、ただ今より、令和7年度鈴鹿市雇用促進連携協議会を開催いたしますのでよろしくお願いいたします。本日の司会進行を務めさせていただきます一般社団法人わくわくスイッチの中村と申します。本日はよろしくお願いいたします。

それでは、はじめに開会のあいさつを、本協議会の会長であります、末松市長より御挨拶申し上げます。

【第1部 開会あいさつ】

(鈴鹿市長)

皆さま、こんにちは。本協議会の会長を務めさせていただいております鈴鹿市長の末松でございます。本日は、お忙しいところ、「令和7年度鈴鹿市雇用促進連携協議会」に御出席をいただき、誠にありがとうございます。また、平素より皆様方には、市政各般に亘り、御理解と御協力をいただいておりますこと、この場をお借りいたしまして、心から御礼を申し上げます。昨年度の本協議会では、企業部会、大学部会、高校部会それぞれのお立場から、大変貴重な御意見を頂戴し、雇用施策の検討や取組の実施に、多大なる御協力を頂戴いたしました。今年度におきましても、本市における雇用に関する課題解決に向けた取り組みを進めるべく、産学官が連携の上、「鈴鹿 de はたらこっ！プロジェクト」を通じた、様々な取組を実施してまいりたいと考えております。なお、本協議会の後半では、グループディスカッションを予定しておりますので、今後の本市における雇用施策の一層の推進を図るべく、「チーム鈴鹿」として、皆様方の忌憚のない御意見を頂戴したく存じます。最後になりますが、本協議会が本市の雇用の促進につながるとともに、皆様方におかれまして、有意義な会議になりますことを祈念いたしまして、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

末松市長、ありがとうございました。続きまして、本協議会の副会長であります、鈴鹿商工会議所松脇副会頭より御挨拶申し上げます。

(松脇副会頭)

皆さま、お世話になっております。鈴鹿商工会議所の副会頭を務めております松脇でございます。本来ならば、副会長の鈴鹿商工会議所会頭の田中より御挨拶を申し上げるところで

ございますが、本日は、公務のため欠席させていただいておりますので、会頭に代わりまして私より御挨拶申し上げます。本日は、お忙しいところ、「令和7年度鈴鹿市雇用促進連携協議会」に御出席をいただき、誠にありがとうございます。本協議会では、市内の企業様、県内の大学様、市内の高校様に御参画を頂戴しており、それぞれのお立場から、本市の雇用施策の推進に携わっていただいておりますこと、大変心強く存じます。さて、鈴鹿商工会議所では、市内企業の雇用の促進を図ることを目的として、毎年2月に、高校2年生とその保護者を対象とした「鈴鹿地区就職フェア」を開催し、高校生に企業の特徴や魅力を伝える機会を提供させていただいております他、中学生を対象に、市内に魅力ある職場があることについて生徒の理解を促すため、「中学生市内企業見学会」を開催し、若い世代の定住促進による生産年齢人口の拡大を図っております。鈴鹿市におきましても、生産年齢人口の減少による労働力の不足が懸念されている中、当会議所としましても、鈴鹿市をはじめ、企業や大学、高校と連携しながら、「将来の活気あふれる鈴鹿市」の創出に向け、雇用施策を検討したく存じますので、皆様方の変わらぬお力添えを頂戴できますと大変幸甚に存じます。最後になりますが、本協議会を通じて、皆様方と連携の上、本市の雇用施策の推進を図りたく存じますので、本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

松嶋副会頭、ありがとうございました。

【第1部 趣旨説明】

(事務局)

それでは、続きまして、本協議会における趣旨説明を、鈴鹿市産業政策課の伊藤課長より御説明させていただきます。

(伊藤)

皆様、本日はお集まりいただき、誠にありがとうございます。産業政策課の伊藤でございます。それでは、趣旨について、説明させていただきます。2ページ目を御覧ください。まず、「鈴鹿市雇用促進連携協議会の概要について」でございます。こちら、昨年度から御参加いただいております方々には、改めての御案内となりますが、本協議会の目的につきましては、1ポツ目にありますとおり、昨今の市内企業における労働力確保の課題について、若年労働者等の人材確保に向け、産学官が連携して雇用対策に関する情報共有、連絡調整等を行い、本市の雇用施策の一層の推進を図ることを目的に、鈴鹿市雇用促進連携協議会を設置しております。なお、本協議会は、平成29年度に設置させていただきましたが、コロナ禍以降は開催できておりませんでした。しかしながら、皆様方の御協力により、昨年度から再スタートさせていただくことができました。また、本日の第1回目の本協議会以降につきましては、企業部会、大学部会、高校部会における部会同士での会議の開催を予定しております。引き続き、皆様方のお力添えを頂戴しながら、本市の将来を見据えた雇用施策の展開

を図ってまいりたいと考えております。続いて、3 ページ目を御覧ください。こちらは、昨年度より創設した「鈴鹿 de はたらこっ！プロジェクト」として実施した主な取組みでございます。本プロジェクトは、昨今の雇用に関する課題について、産学官が連携の上、雇用促進事業の企画・立案・実施に取り組むプロジェクトになります。昨年度は、皆様方にも御協力をいただきながら、様々な取組みを実施することができました。具体的な取組みといたしましては、市内企業や高校の魅力を発信するための、「企業・高校見学ツアー」をはじめ、企業の採用力向上を図ることを目的とした、「採用力向上セミナー」、東京での UIJ ターン就職の促進を目的とした「鈴鹿 de はたらこっ！就職フェア IN TOKYO」、また、昨年度より本市も関わらせていただくこととなりました「高校生向けインターンシップ」など、新しい事業にも取り組んでまいりました。その他にも、企業と高校の情報交換ネットワークの構築を目的として、令和元年度より開催しております「企業と高校の情報交換会」や、例年3月に開催しております、全ての求職者を対象とした「合同企業説明会 in すずか」など、様々な取組を通じて、本市の雇用の促進を図ってまいりました。次に、4 ページ目を御覧ください。こちらは、昨年度実施した主な取組のうち、市内企業への採用に結び付いた結果と、取組の検証や、今後の改善点等を記載したものになります。まず、昨年度の「鈴鹿 de はたらこっ！プロジェクト」におきましては、合計で14名の方の採用がございました。その中で、御参加いただきました企業様や参加者様から頂戴した御意見を、抜粋して説明させていただきますと、「企業と高校の採用・就職に関する情報交換会」では、「こちらが想定していなかった学校から求人応募のニーズがあることがわかり、とても参考になりました。」など、ありがたい御意見とともに、情報交換会に限られた時間ということもあり、「もう少したくさん会社（高校）の方と面談したい。」といった、今後の参考になる御意見も頂戴いたしました。なお、今年度の情報交換会を既に5月に開催させていただきましたが、あらかじめ設定させていただいた面談の他、フリータイムの時間を設けたことにより、企業と高校が自由により多くの意見交換を実施していただいております。続いて、11月に開催した東京・三重テラスでの就職フェアにつきましては、市内企業8社が東京まで出向いていただき、大学生や転職希望者をはじめとした31名の来場者と面談いただきました。なお、当日は、三重県や鈴鹿市出身者の方も来られたことから、「三重県の空気を感ずることができた。」という御意見や、満席により企業と面談ができなかったなどの御意見を頂戴しました。これらの意見を踏まえ、今後のマッチング事業につきましては、時間制や複数面談方式にするなど、改善を検討しております他、今年度より開設した鈴鹿市の東京事務所と連携し、更なる UIJ ターン就職の促進を図りたいと考えております。その他の事業につきましても、参加された方々や、皆様方の御意見を頂戴しながら、改善できるところは改善し、本市の雇用の促進につなげたいと考えておりますので、引き続き、皆様方の御協力を頂戴いただきますよう、よろしく願いいたします。趣旨説明は以上でございます。

(事務局)

伊藤課長、ありがとうございました。

【第1部 令和7年度の事業について】

(事務局)

それでは、続きまして、令和7年度の事業について、一般社団法人わくわくスイッチの中村より御説明させていただきます。

(中村氏)

今年度の事業といたしまして、産官学が連携した採用活動「就域」をコンセプトに、鈴鹿市で働きたいと思う若者を増やし、市内企業とつなぐことで鈴鹿市の雇用促進と持続可能な発展の実現を図ります。具体的な取組といたしまして、まず、企業ツアー「シゴトラベル」です。こちらは、従来のバスツアー型会社見学とは異なり、参加者による経営者へのインタビューや企業研究などを通じて、参加者が主体的に参加することを促し、市内企業に対する理解促進や就業意欲の増進を図る取組になります。続きまして、「すずか地域愛醸成事業」になります。こちらは、産学官が連携し、鈴鹿に関する出前講座を実施することで、市内企業で働く人の講話や座談会などを通じ、「鈴鹿は面白い会社が多い」、「将来鈴鹿で働きたい」、「地元を持ってこよう」という若者の増加を目指す取組になります。なお、林建材様、村瀬病院様、港屋珈琲様の御協力の下、鈴鹿高校にて第1回目を開催させていただきました。実施後の学生向けアンケートでは、「地元企業への興味やUターンの意向に変化はあったか？」という問いに対して、半数以上が、「興味が高まった」、「どちらかといえば興味が高まった」という回答となりました。その他、高校では津西高校や津東高校を予定しております他、大学については、神奈川大学や東京家政学院大学での出前講座を予定しており、本取組を通じて、学生に対し市内企業の魅力発信を図っていきます。その他、企業の採用力向上を図ることを目的とした企業向けのセミナーや、市内企業の認知度向上を図ることを目的としたショート動画の製作などを通して、市内企業における雇用の促進を図っていきます。令和7年度の事業説明は以上になります。

(【第2部】以降は、ディスカッションを実施)